

デジタルメディアプレーヤー

使用上のご注意／主な仕様

NW-ZX500	ヘルプガイド	検索
----------	--------	----

インターネット上でヘルプガイド (Web取扱説明書) などのサポート情報が閲覧できます。閲覧は無料ですが通信料は通信契約に依存します。
<https://sony.jp/support/r/walkman/nwzx500/>



NW-ZX507

マニュアルについて

- 取扱説明書：ウォークマン®の基本操作について記載しています。
- 使用上のご注意／主な仕様 (本書)：ご使用前にお読みください。主な仕様やパソコンの動作環境、ご注意などを記載しています。
- ヘルプガイド (Web取扱説明書)：取扱説明書に記載されていない機能や、さらに詳しい操作説明を記載しています。パソコンやスマートフォン、ウォークマン (Wi-Fiネットワーク接続時) でご覧いただけます。
- 重要なお知らせ：商標や法規について記載しています。



(1)

©2019 Sony Corporation Printed in China

5-031-655-01(1)

警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。本書と「取扱説明書」、「ヘルプガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

本書と「取扱説明書」、「ヘルプガイド」の注意事項をよくお読みください。

本書は、安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

定期的な点検する

コネクタなどにほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、イヤークリップがヘッドホンにしっかり取り付けられているかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



- パソコンと接続している場合は、USBケーブルまたはUSB端子を抜く。
- お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。

警告表示の意味

本書および本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



危険 下記の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



火の中に入れてはいけません。



温度が非常に高いところで充電したり、放置しない。

- 火のそば
- 暖房器具の近く
- 炎天下で窓を閉め切った自動車内 (とくに夏季) など



本製品の各端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。

本製品の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。



警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。



火災 感電

充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本製品内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

運転中は使用しない。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。



周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。



内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、本製品に接続しているものをはずし、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



雨、水がかかる場所、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない。

上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。



分解や改造をしない。

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービスステーションにご依頼ください。



乳幼児の手の届かないところに置く。

イヤークリップなど小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。



本製品を布団などでおおった状態で使用しない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない。

感電の原因となることがあります。



注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えるおそれがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音がでて、耳をいためることがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。ボリュームは徐々に上げましょう。



肌に合わないと感じたときは使用しない。

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。



使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。



本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となることがあります。



本製品を医療機器の近くで使用しない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。



本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となることがあります。



本製品に強い衝撃を与えない。

本製品には強い衝撃や過度の力を与えないでください。モデルによっては、画面表示部にガラス素材を採用しています。欠けや割れが発生するとけがの原因になります。その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。



不安定な場所に置かない。

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。



イヤークリップがはずれかけた状態で使用しない。

イヤークリップが確実に固定されていない場合、使用中にはずれて耳の中に残る場合があります。ご使用前にイヤークリップが確実に取り付けられていることを確認してください。



通電中の製品に長時間ふれない。

アプリ、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、製品の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



本製品は、国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。



使用上のご注意

無線LAN機能について

本製品内蔵の無線LAN機能はWFA (Wi-Fi Alliance) で規定された「Wi-Fi (ワイファイ)仕様」に適合していることが確認されています。

無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等 (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止 (電波の発射を停止) してください。
- 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4 FH2/XX6

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式とその他の変調方式を採用し、与干渉距離はそれぞれ、20 mと60 mです。

2.4DS/OF4

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

5 GHz機器使用上の注意事項

- 本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

ーW52 (5.2 GHz帯/36、40、44、48ch)

ーW53 (5.3 GHz帯/52、56、60、64ch)

ーW56 (5.6 GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

152 W52 W53 W56

- 電波法により、5 GHzワイヤレスLAN機器は一部許可された場合を除いて、屋外利用禁止です。

- 当該無線設備の送信は5.2 GHz帯高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動中継局と通信する場合を除き、屋内においてのみ可能です。

BLUETOOTH®接続の使用上のご注意

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- ウォークマンにはアンテナが搭載されています。アンテナ部分の方向を接続したBluetoothオーディオ機器に向けることで、Bluetooth接続の感度が良くなります。ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の間に障害物などがあった場合、接続有効範囲は変わります。
- 以下の場合は、Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。このような場合、音が途切れたり通信に失敗することがありますが故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
 - 金属製のかばんの中で使う場合
 - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
- 無線LANが構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

- Bluetoothオーディオ機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10 m以上離れたところで行う。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器をできるだけ近づける。
 - 無線LANを搭載した機器から10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声に比べて、受信側のBluetoothオーディオ機器での再生がわずかに遅れます。
- Bluetoothオーディオ機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではウォークマンおよびBluetoothオーディオ機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く

- ウォークマンは、Bluetooth技術を使用した接続時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した接続を行う際はご注意ください。

- Bluetooth技術を使用した接続時に情報の漏洩が発生しても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ウォークマンはすべてのBluetoothオーディオ機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetoothオーディオ機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるようになるまで時間がかかることがあります。

ウォークマンの充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。

- 電源を接続していないノートパソコンとウォークマンを接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。ウォークマンを接続したまま長時間放置しないでください。

本製品の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。

- 以下のような場所に置かないでください。

ー直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。



ーダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内 (とくに夏季)



ーホコリの多いところ

ーぐらついた台の上や傾いたところ

ー振動の多いところ

ー風呂場など、湿気の多いところ

ー磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く

- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、ウォークマンの電源を切って、ウォークマンをラジオやテレビから離してください。

- 本製品をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- ウォークマンをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



ーウォークマンにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。



- 水がかからないようご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。

- ー洗面所などでポケットに入れての使用
- ー身体をかめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。



ー雨や雪、湿度の多い場所での使用

- ー汗をかく状況での使用
- ー濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

- ーヘッドホンをウォークマンから外すときは、ヘッドホンのプラグを持って外してください。ケーブルを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。

- ーヘッドホンを付けたまま寝ないでください。寝ているあいだにヘッドホンのケーブルが首にからまり、窒息の原因となることがあります。

- ー本製品をご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。運転中以外でも、踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

- ーストラップ (別売) を付けてご使用する場合は、ストラップが引っかかる危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。

- ー飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。

- ー周囲に配慮する必要があるような混雑した場所ではご使用をお控えください。

- ー耳に差し込むタイプのヘッドホンは、イヤークリップ部分の密閉度が高いため、イヤークリップが耳に強く押しこまれたり、急に外れたりすると、鼓膜などを傷めるおそれがあります。使用後は、イヤークリップ部分を上下に動かして、ゆっくり取り外してください。

